



発行
国立市公民館
〒186-0004
国立市中1-15-1
☎ 042-572-5141
FAX 042-573-0480
休館日：毎週月曜日

【映画上映とお話】

「架け橋 きこえなかった3.11」

監督・撮影 今村 彩子 2013年 カラー 73分



生まれつき聴覚にしょうがいがある映画監督の今村彩子さんが、東日本大震災で被災したろう者の暮らしを2年4ヶ月間にわたって取材したドキュメンタリー映画。

震災直後に宮城県を訪れた今村さんは、ろう者たちから「津波の警報が聞こえなかった」と知らされます。「命に関わる情報に格差があってはならない」という強い思いから取材を続けてきました。

この映画を通じて、耳の聞こえない人に限らず、災害下で情報弱者となってしまう人たちとの関わりについて考えてみたいと思います。

お 話 今村 彩子 (映画監督)



手話通訳付

と き 3月16日(日) 午後2時~5時
と ころ 公民館 地下ホール 定員 60名(当日先着順)
※ご自由においでください。

【お話】

いま若者が被災地で考える未来

お 話 吉澤 武彦 (オープン・ジャパン/日本カーシェアリング協会)

東京では震災前の生活に戻りつつあります。現地へボランティアに行く人の数は減り、被災地の状況を知る機会や震災を考える機会も減ってきたのではないのでしょうか。

今回は、震災直後から宮城県石巻市に入り、今も住み込みで活動に取り組んでいる吉澤さんにお話をうかがいます。今の被災地の状況やそこに生活する人の想いをどう受け止め活動に取り組まれているのかを聞き、被災地ではどのような未来が築かれているのか、一緒に考えてみたいと思います。



吉澤さんと地元のみなさん

と き 3月21日(金・祝) 午後2時~4時
と ころ 公民館 地下ホール
定 員 50名(先着順)
申込先 3月7日(金) 朝9時~
公民館 ☎ (572) 5141

公民館では、東日本大震災・原発災害から私たちが何を学ぶのかを考える連続講座を3月6日から実施します(公民館だより2月号掲載)。第2・3回目については左の案内をご覧ください。2ページ目には第4回として「都市直下型地震に備えて―神戸の経験に学ぶ地域コミュニティの底力」というテーマで国立市に引きつけて考える機会にします。ぜひご参加ください。

「ポスト「3.11」社会のカタチ 私たちのオモイ 2014」

版画をつくってみよう!

—プレス機体験ワークショップ—

プレス機を使って、本格的な版画を体験してみませんか? 紙の版(ドライポイントプレート)とプレス機を使って版画を作ります。紙の版に、線を描いたり、切ったり、はがしたりして、インクを詰めて刷ると、銅版画のような作品ができます。

講師 山本 佳奈枝(版画家)
坂田 季代子(版画家)
タダ ジュン(イラストレーター・版画家)

とき 3月30日(日) 昼1時~4時(受付は3時まで)

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

対象・定員 30名程度(当日先着順・入替制)

材料費 200円

持ち物 エプロン(よごれてもよい服装)、
ハガキサイズぐらいの下絵(なくても可)

※所要時間は1時間程度です。事前申込み不要。ただし、定員を超えた場合は、締め切らせていただきます。

同時開催!

「はじめての銅版画」展

創作講座「はじめての銅版画—Etching Work Shop—」(2月~3月、全4回)の作品展を行います。一人ひとり個性豊かな作品ができました。ぜひ見に来てください!

とき 3月25日(火)~30日(日) 夕5時まで

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

問合せ 公民館 ☎(572) 5141

シネボックス 公民館映画会

『チャップリンの黄金狂時代』

THE GOLD RUSH

アメリカ 1925年 白黒 72分

製作・監督・脚本 チャールズ・チャップリン

出演 チャールズ・チャップリン、ジョージア・ヘイル
マック・スウェイン、ヘンリー・バーグマンほか

20世紀が生んだ最大最高のコメディアン、チャールズ・チャップリンの最高傑作の呼び声も高い名作。ゴールド・ラッシュにわくアラスカを舞台に、ご存知・放浪紳士チャーリーの一獲千金の夢と恋の物語。あまりにも有名な、どた靴スパゲッティやロールパンのダンスなど、チャップリンの至芸を堪能できる抱腹絶倒の名場面の数々をお楽しみください。

とき 3月23日(日) 昼2時~

ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)

*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

—都市直下型地震に備えて— 神戸の経験に学ぶ 地域コミュニティの底力

1995年に起きた阪神・淡路大地震で震災を経験したベルー出身の大城さんをお招きし、震災に備える視点と多様な人々が暮らす地域でのコミュニティづくりの取り組みを学びます。

また、くにたち地域で外国人と共に、防災・減災の学びを広げているKUNIBOのみなさんと、いざというときに身を守り助け合う避難体験も実施します。

講演 「多様な視点で捉え直す防災と地域社会」

講師 大城 ロクサナ

(「ひょうごラテンコミュニティ」代表)

とき 3月29日(土) 昼1時~3時

集合 公民館 地下ホール

定員 50名(当日先着順) ※申込みは不要です。

呼び掛け 公民館利用者連絡会/公民館交流会準備会/

くにたち地域外国人のための防災連絡会(KUNIBO)

〈南市民プラザ映画会〉

『魔女の宅急便』

1989年 カラー 103分

監督・脚本 宮崎駿 原作 角野栄子

声の出演 高山みなみ、佐久間レイ、信沢三恵子、
戸田恵子、山口勝平、加藤治子ほか

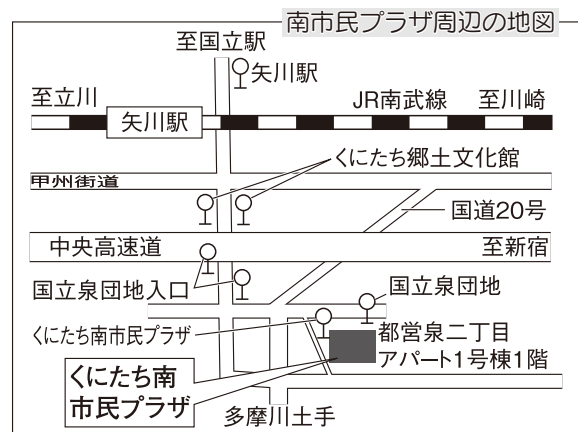
角野栄子の同名児童文学をもとにした、宮崎駿の劇場用監督作品第5作。少女の成長と自立をテーマに描くヒューマン・ファンタジー。

人間と魔女が結婚して生まれたキキは魔女として育てられ、13歳になった満月の夜、自立の旅に出発。ホウキに乗って飛べる魔女の力をいかして、パン屋に下宿しながら宅急便屋を始める。ある日、友人のトンボが飛行船から宙づりになり…。

とき 3月20日(木) 昼2時~

ところ 南市民プラザ 多目的ホール(泉2-3-2)

定員 50名(当日先着順)



〈図書館のつどい〉

「困ってるひと」の 後で —難病・フクシマ・困ってるズー

お 話 大野 更紗 (作家)

筋膜炎症しん症候群という日本ではあまり前例のない難病にかかった大野更紗さんのエッセイ『困ってるひと』。ビルマ難民問題の研究にいそしんでいた2008年、突然の発病。適切な治療を受けるまでに一年間を費やすなど決して容易ではない「難民」生活を軽やかに描いたことで大変話題になりました。その刊行からはや3年。社会を生き抜くなかで、「困ってるひと」の声を聴き、社会保障や医療制度の不条理さ、そして「フクシマ」の問題について語ってこられた大野さんにお話をうかがいます。

〈大野さんの本〉『困ってるひと』(ポプラ社)、『1984 フクシマに生まれて』(講談社文庫)ほか多数。

と き 3月20日(木)夜7時~9時 定員 35名
ところ 公民館 3階講座室 *ご自由においでください。

〈多文化共生事業〉

「移動する子どもたち」の ことばとアイデンティティ

講 師 川上 郁雄 (早稲田大学、日本語教育)

仕事や新たな生活を求めて人々が国境を越えて移動を繰り返す現代、大人たちと一緒に移動せざるをえない子どもたちが増えています。その子どもたちが直面するのがことばの問題です。たとえ日常会話に支障がなくとも、学習のつまずきがことばのハンディに起因する場合があります。また人と関係を築きながら成長する際も「ことばの力」が大きな意味をもつといえます。

子どもたちの言語発達をどう確保していくのが望ましいか、「移動する子どもたち」の現状を知り、学校と地域がいかに連携できるのか、川上さんにお話をうかがいます。

と き 3月28日(金)昼2時~4時
ところ 公民館 3階講座室 定員 30名
申込先 3月8日(土)朝9時~
公民館☎(572)5141

〈親子で遊ぼう・考えよう〉 科学の力で飛ばそう! 射的祭り

今回は、空気ので飛ばす空気砲・輪ゴム・磁石など、科学の力を利用して射的を楽しみます。親子で工夫しながら射的の最高点を目指しましょう!

講 師 山田 修平
(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

と き 3月16日(日)朝10時~12時
ところ 公民館 地下ホール
定 員 子ども(4歳~小学生)と保護者
18組(先着順)
持ち物 500mlの空きペットボトル(炭酸が入っていたもの)、タオル、飲み物
*動きやすく、汚れてもよい服装でおいでください。
申込先 3月7日(金)朝9時~
公民館☎(572)5141

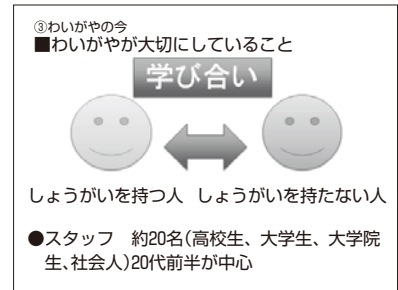
〈東京都公民館研究大会報告〉

青年たちが魅力を伝える!

第51回東京都公民館研究大会(主催・東京都公民館連絡協議会)が1月18日(土)に開催されました。

国立市公民館は第2課題別集会「障がいをもつ市民の学びの場について」とい

うテーマで「喫茶わいがや」や青年室が今まで大切にできたことを発表しました。わいがやや青年室では、支える・支えられる関係ではなく、しょうがいのある・なしに関わらず、青年として相互に学び合うことを約30年間積み重ねてきました。職員と共に、青年自身が自分たちの言葉で、国立市公民館の魅力を伝える機会となりました。



公民館の窓
市民の熱く思ひ創り出したる

30数年前、公民館の改築委員会の「こういう部屋があるといいですな」「ここはこうしたらどうですか」などの議論の場になりました。そのころ会場を取るために先着順で並んでいる人たちで話し合いが行われ、公民館利用者連絡会(公利連)が誕生しました。

改築委員会での市民の方々の思いが公民館の施設や設備の隅々に反映されているように、公利連の方々には調整会の運営だけでなく、団体同士の交流の機会などにも積極的にご協力いただいています。

改築前、ホールは現在の駐車場の所に別棟で建てられていました。そのホールを建てた時は市民の方々の熱心な活動があったと聞いています。保育室も青年室も小さいお子さんを持つお母さんたちや青年学級生の声で作られたそうです。公民館自体が住民による文教地区指定運動を経て、自治体警察の建物を改装してつくられました。

このような市民の熱い思いが込められ大事にされてきた公民館はほかにありません。いつもその責任の重さを感じるとともに、機会あるごとに思い起こし、振り返りたいと思います。

(K・Y)

まちを元気に

の取り組みと報告—

的に取り組む5つの目標を設定し、その実施内容の一部を報告します。

学びの拠点づくり

北地域では盆太鼓の体験講座を昨年度開催。企画段階から地域の運営委員会や自治会などの声を聞き、北地域ならではの講座になりました。講座終了後は「盆太鼓に親しむ会」として自主グループ活動が続いています。南市民プラザでは初めて子ども向け映画会を、富士見台地域では親子向けの野菜の収穫体験&料理教室を実施しました。

今後も自治会・町会などと連携しながら市内各地域で館外事業を開催し、学びの拠点づくりを広げていきます。



野菜収穫体験ではナスなどを収穫

広がる連携



映画の音響効果学(院生講座)

昨年度の公民館講座「地域活動入門」からできた自主グループに関わりながら、一橋大学との連携を模索してきました。そして今年度は、若手研究者と地域社会の交流の機会にもなる「一橋大学大学院生による講座」を実施しました。今後も、公民館講座の内容・地域課題に関して、市民団体、民間団体、関連部署と情報交換をしながら、協力して進めていきます。

施設環境を改善

「1階トイレの洋式化」 完成しました。

[市民のご協力でできました]

○公民館周辺の緑化

緑化ボランティアの方々のご協力により、公民館の南側や保育室前に、花や緑が増えました。

○市民による壁のペンキ塗り、大掃除

第58回くにたち市民文化祭実行委員会・公民館利用者連絡会・くにたち地域外国人のための防災連絡会の各団体の方の呼びかけにより、多くの市民の方にお集まりいただきました。

第1回 展示パネルとポール、1階と図書室中2階ロビーの階段の手すりの塗り替え **第2回** 講座室・集会室の壁紙の塗り替え、地下ホールの倉庫の大掃除 **第3回** 第2回参加者有志による、集会室の戸棚の塗り替え、和室障子の張り替え。

「今後も利用者の皆さんと共に公民館の環境整備を進めていきます。」

〈ご利用ください〉

・ホワイトボード 新しく入りました。

(3階講座室)



(3階和室)



・紙折り器とカッター (2階印刷室)・トイレ (1階)





みんなで学び

—25年度重点目標へ

公民館では、平成25年度当初に重点
さまざまな取り組みを始めました。

もっと多様な若者の支援に向けて

30年余り活動している公民館1階の「喫茶わいがや」とその隣にある青年室では、しょうがいがある・なしに関わらず共に学びあい支えあう若者主体の活動が続けられてきました。

この青年室にもっと地域の多様な若者たちが集まり活動が充実することを目指して、今年度から「自立に課題を抱える若者の社会参加支援事業」を開始。さまざまな学習会・講演・映画会を開催してきました。

この事業は文部科学省の委託事業「公民館を中心とした社会教育活性化支援プログラム」に採択されました。来年度も引き続き、多様な若者の社会参加を支える事業を充実させたいと考えています。



「若者がもっと生きやすくなる社会に向けて」
(2月1日実施)



青年室活動の様子

地域資料の活用



市民・市内の団体が発行した本のコーナー

図書室ガラス戸棚の資料もご活用ください



公民館・図書館・郷土文化館共同で地域資料の収集・整理・保存作業を始めています。

市内の地域資料をより効率よく利用しやすい環境整備を進めるために、市内社会教育施設の連携と分担を検討してきました。

公民館図書室では市民・市民団体の発行者、中央図書館では行政資料、郷土文化館では郷土歴史資料の収集・保存を主に担当します。2014年度の図書館システムの入れ替えにともない、これまで検索や貸出ができなかった郷土文化館の地域資料等がより利用しやすくなります。

公民館図書室では市民が発行している資料を、より皆さんの手に取っていただけるような工夫をしていきます。

〈講座参加者の声〉 図書室のつどい

「辞書を編む」を聴講して

酒井淑子(富士見台)

「図書室のつどい」は毎月1回、最近出版された本・話題になった本の著者をお招きしてお話いただき、そのテーマについてより深く考える講座です。2013年12月に実施した「図書室のつどい」に参加された酒井さんに、その時のお話をまとめていただきました。



日本語は素敵

最近、日本人同士でも会社で英語のみでコミュニケーションをとっていると聞くと、日本語が次第に軽視されていくのではないかと危惧をいだいてしまいます。

日本語は横軸に、外来語を含む新語に対して包容力があり、縦軸に、古来からの言葉、たとえば色に、微妙なニュアンスの違いを表せる語彙を残しています。意思疎通の道具としてだけでなく、陰翳の深い文章も表せる豊かな言語で、大事にしなければと考えています。さて、その日本語を基礎から支える辞書の編纂に携わっている飯間浩明さんのお話をお聴きすることができたのは幸運でした。



辞書にも個性がある!?

辞書は大型辞典(大辞林、大辞泉、広辞苑など)と小型国語辞典(三省堂、新明解、岩波、明鏡など)に分類されます。お話によると、同じようにみえる辞書にも違いが多々あって、歴史的説明を重視するものや、現代用法を多く取り入れ新語に強いものなど、比べてみると大変興味深いといえます。



「さあ、この言葉の意味は？」クイズも出て盛り上がりました!



言葉を探集

たとえば「右」という語を引いてみると「東を向いた時、南に当たる方」とか、「この辞典を開いて読むとき、偶数ページのある方」あるいは「文字の一を書いたとき、書き終りの方」など、いろいろな定義があるとか。「右」などという簡単そうな言葉も定義づけすることは難しいし、そこに個性が出ていることが分かりました。

辞書の編纂については全く新しい辞書を作る場合と改訂版を作る場合があり、飯間さんは「三省堂国語辞典」の改訂版を作るご経験からのお話でした。まず、現在の版に載っていない新しい言葉の用例採集があります。活字からは、たとえば女性誌から

のファッション用語。放送からは、いわゆる朝ドラ(この言葉も新語のようです)から「もったり」という言葉など。編纂者がそれぞれ集めた用例を取捨選択して4千語ほどを改訂版に載せるため、飯間さんは1万数千の新しい用例を集めたそうです。

東京中を歩き回って街の看板や話し言葉からも用例を収集されたお話は、特におもしろかったです。たとえば「京洗い」とは「着物をほどこいて洗い張りせずに、ドライクリーニングのように丸洗いのこと」とか、かき氷の店で「プルーハワイ」といったら「かき氷の上にラムネ味の青い汁をかけること」とか。



辞書だって完璧じゃない

次に語釈執筆という作業があります。たとえば「カピバラ」は「ネズミのなかまで、大型犬ほどの大きさの、けもの。毛におおわれ、ねむそうな目と、間のびした鼻の下をもつ」という語釈で、カピバラを見たことがない人にも伝わるように書くのは、なかなか大変なことだと思いました。

また、従来の語釈を現在に合うように書き直す作業もあるそうです。「ライター」の語釈を「発火



図書室に所蔵しています

石をこすってタバコの火をつける器具」からシンプルに「タバコの火をつける器具」に直した例では、いくつものライターを買って分解し、発火石をこすってつけるものだけではないと確認なさったとか。新語が加えられると同時に、もう十数年使われない場合は死語として消去されるものもあるそうです。さらに、広辞苑のような辞書にも誤りがある例として「爆笑」は「大勢が大声でどっと笑うこと」という説明があげられました。爆笑は、大勢だけでなく一人でもできることの参考例として「加賀守は、天井へ、爆笑を、なげつけた」という直木三十五の文章が引用されました。文学作品の細かい表現にも目を届かせることができました。最後に、辞書は何冊か持って比較して使うのも面白いというアドバイスで、とても興味深いお話でした。

ひるば

(8ページにもあります)



雪原の国立駅前ロータリー (1997年)

撮影 小幡次郎さん (西)

中国語会話サークル 会員募集

日本の古典文学の研究者である中国人教師の指導で楽しく中国語を学習しています。ピンインが読める人、初級を終えた人、途中でリタイヤした人の再挑戦も歓迎。
日時 毎週金曜日夜7時〜8時半
場所 公民館 3階集会室(予定)
連絡先 和泉(090)43303

初心者ウクレレ!!お仲間募集

♪見上げてごらん夜の星をなどウクレレで歌いながら楽しむ会です。ウクレレに興味のある方、お待ちしています。見学もOK。
「ハウオリの会」
日時 第一、三(金)夜7時〜8時半
場所 富士見台一丁目集会所
連絡先 山下(090)0514

還暦軟式野球の部員募集

市内唯一の還暦野球チームです。健康の維持・増進を図り、楽しくプレーしたい野球好きを募集中。試合は水・土曜。まずは、練習にご参加を。国立フレンド・シニア
日時 毎週火曜日午前中(練習)
場所 谷保第三公園野球場
連絡先 丸山(572)0106

「和みくらぶ」会員募集

太極拳のゆったりとした動きは体力や運動神経にかかわらず、どんな年代の人でもできるのが魅力です。心も体も芯から強く美しく。まずは、体験してみませんか?
日時 毎週金曜日昼3時〜5時
場所 総合体育館 第3体育室
連絡先 長谷川(090)7254

春季ソフトテニス市民大会

参加資格は市内在住、在勤、在クラブ。参加費500円(高校生200円)。中学男女3月23日(日)(雨30日)、一般男女・シニア6月8日(日)(雨15日)。申込締切は中学生3月8日(土)一般男女・シニア5月24日(土)
場所 広場テニスコート
連絡先 加藤(572)4728

硬式テニス春季大会

男単・複A・B、女単・複A・B、男・女壮年複、家族混合、男女小中学生単。詳細はホームページ参照。締切3月13日(木)。申込先 サ
ンライズ(580)2441
日時 4月5日(土)〜6月7日(土)
場所 広場コート
連絡先 平田(574)0534

デジタル写真 写真発表会

デジタル写真の会員の年に一度の写真展です。会員一同一生懸命撮りました。興味のある方はぜひご覧下さい。★ただ今、会員を募集しています。
日時 3月11日(火)12時〜16時16時
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 北原(572)8242

マトリョーシカの会コンサート

ゲストは歌手の山之内重美さんです。ゲスト演奏のほかにも参加者全員でロシア民謡やロシアの歌を歌います。見やすいカナチキの楽譜もあります。資料代500円
日時 3月29日(土)昼3時半〜5時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 大貫(572)5214

公民館運営審議会報告

2月11日(火)第14回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名が出席。
前回の議事録確認

議題

諮問「現代の地域社会に求められる公民館の事業」について
委員長より答申(案)の総括部分についての修正案が出され、協議した。また、各課題別小委員会から報告があり協議。引き続き各委員会での討議を深めていくこととなった。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会
1月号のタイトルロゴの部分のデザインが好評であり、今後も検討しては、という意見が出た。
2月号は事業が多く、優先順位を付けた見せ方の工夫も提起された。
○社会教育委員の会
1月21日(火)定例会では委員の中から3名ずつ発表を行っていることが報告された。

○東京都公民館連絡協議会
1月18日(土)研究大会に職員、委員計13名が参加。委員から参加報告。分科会ごとに会場が分かれていたために、全体会がなかったことが残念だったとの感想あり。

○社会教育学習会
担当委員より2月25日(火)に公民館・未来夜話第3回「人と人をつなぐ地域メディアデザイン会議」を開催予定。

次回定例会は3月11日(火)午後7時15分から。傍聴歓迎。

(杉野)

【いけばな同好会】へのお願い
専正池坊古典アレンジメントなど楽しい花仲間の会です。お花好きな方お友達と一緒に学びませんか。初心者大歓迎。見学自由
ご連絡お待ちいたしております。
日時 第一、三(木)朝10時〜12時
場所 富士見台第三団地集会所
連絡先 吉村(576)5582

スマイルキッズメンバー募集
童謡に合わせて子供とスキンシップを取りながらママの心と体をリフレッシュする体操です。対象は0歳から三歳のお子さんとママ。体験歓迎。申込不要です。
日時 3月4・18日朝10時15分
場所 総合体育館 地下一階
連絡先 保坂(571)6839

カラオケ・あざみの会
カラオケを楽しみませんか。サークル仲間や友人との旅行で料理を食べて人の歌を聞くだけ。なんて経験はないですか。一〜二曲自信を持って唄える歌をぜひ。
日時 毎週水曜日朝9時30分
場所 北市民プラザ 音楽練習室
連絡先 源(090)8228

水の中ウォーク四泳法イルカの会
水と戯れてみませんか。水の中で歩くこと、浮くことができるようになると、ひと呼吸泳げるようになり、そして何mも泳げるようになります。体調に合わせて泳ぎます。
日時 第二、四、五(金)昼12時〜2時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 和泉(576)8690

カラオケを楽しむませんか。サークル仲間や友人との旅行で料理を食べて人の歌を聞くだけ。なんて経験はないですか。一〜二曲自信を持って唄える歌をぜひ。
日時 毎週水曜日朝9時30分
場所 北市民プラザ 音楽練習室
連絡先 源(090)8228

今月の公民館 (3月)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 16日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう
「科学の力で飛ばそう! 射的祭り」
- 16日(日) 昼* 「架け橋 きこえなかつた3.11」
- 20日(木) 昼* 南市民プラザ映画会
『魔女の宅急便』
- 20日(木) 夜~* 図書室のつどい
『困ってるひと』の後で
- 21日(金・祝) 昼 「いま若者が被災地で考える未来」
- 23日(日) 昼* CINEVOX 公民館映画会
『チャップリンの黄金狂時代』
- 25日(火) ~30日(日) * 「はじめての銅版画」展
- 28日(金) 昼* 「『移動する子どもたち』のことば
とアイデンティティ」
- 29日(土) 昼* 「神戸の経験に学ぶ
地域のコミュニティの底力」
- 30日(日) 昼* プレス機体験ワークショップ



大雪、だけど自転車(1997年)
撮影 小幡次郎さん(西)

ひろば

(7ページにもあります)

災害時でも美味しく食べよう!

震災時は何か口にすることに悩みます。口を追って口にできる食物を体験し美味しい防災食を考えましょう。主催 防災連絡会 協力 おかずクラブ

日時 3月8日(土) 昼1時半
場所 中防災センター
連絡先 山崎(574) 4052

第187回くいしんぼクラブ 王燕敏さんの中国料理

お得意の家庭料理を習いましょう。材料費800円。ゴミ袋とふきんをご持参下さい。

日時 3月16日(日) 昼1時
場所 福祉会館 3階料理講習室
連絡先 八宮(571) 1007

かよう会の作品展

毎週、日曜日の午後、公民館で活動している「人物クロッキー」の会の作品展です。会に参加した人達のクロッキーや自由な作品を展示します。ご高覧のほどを。

日時 3月18日(火) ~ 23日(日)
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 中田(575) 5173

くにたち写遊会・写真展

全日写連顧問・日橋先生の監修で恒例の写真展を開催します。一年間の成果をご覧下さい。健康運動を兼ねての写真撮影に興味のある方の入会もお待ちしております。

日時 4月1日(火) ~ 8日(火)
場所 公民館 1階ロビー
連絡先 末永(577) 3440

公民館図書室 休室のおしらせ

3月10日(月) から13日(木) まで
本の点検・整理のため休室します。

*新聞は、朝9時~夕方5時の間、
2階で閲覧できます。(3/11~3/13)

〈サークル訪問270〉 国立まなびあるきの会



会のみなさん10人と玉川上水ウォーク(二回目)に参加した。

「玉川上水はどう掘ったの」

「区間を決めて一斉に掘ったので八ヶ月足らずでできたのさ」

「技術はすこかったんだね」

写真を撮る人、資料やナジを見る人、それぞれ関心の向くままに観察し、メモをする。

「この分水口はどこに流れるの」

「この砂川分水は深大寺の方にも流れていたんだよ」

「玉川上水と残堀川はどう交差しているの」

「残堀川の跡を見に行こう」など

興味は尽きないようで活発だ。皆探求心が強く、わからないこと疑問に思ったことを自分の目で確かめようとする「国立まなびあるきの会」の真骨頂だと感じた。

会は23年度国立市公民館の地域史講座「まなびあるき」くにたち歴史探訪」に参加した有志によって結成された。国立及びその周辺地域の古道や石碑、建造物、遺跡、景観などの歴史と自然を探訪し、報告書や地図を作製、発表し、昨年は会報一号(75頁)を発行した。

月例会で古地図や資料を広げ、さらに美味しい食べ物、ビューポ

イントなどの楽しい会話と博識が披露され、次の探案の内容と場所が決められていく。人数は決して多くないが会話が豊かで楽しい。そして日時が決まり、前述の現地探訪の実施となる。

「学んだこと、疑問点について現地探索し、新しい発見を得て、国立に関する事象の理解を深め、記録に残す。同時にウォーキングによる健康と知的好奇心を満たす一石二鳥の活動を目指しています」と代表の大井利雄さん。

活動は月例会のほか現地探訪、月一、二回。会員は男女16人。楽しく参加できる方歓迎。

連絡先 大井利雄(573) 5863

〈文・写真 長田利信〉



次は武蔵嵐山に鳥山重忠を訪ねよう